

はじめに

修学旅行は授業で学んだことを現地で見聞する旅とと思っているかもしれませんが、もちろん、それもあります。でも、それだけではありません。みなさんの近い将来や、その先の長い未来を豊かにする、人生のヒントに出会うこと、むしろ、それが大切な旅の目的です。

今、みなさんの興味のあること、好きなこと、推しは何ですか？ その「心の灯」をより一層、熱くさせるマイスポットを京都で発見してみませんか？ 約1200年の京都の歴史のなかには、「心の灯」の原点やつながり、ゆかりが必ずあります。それを見つけやすくするため、この本では「文系」「理系」「芸術芸能」に分け、8通りのコース案を紹介します。

高校や大学で学びたい学問は？ どんな仕事につきたい？ 趣味やスポーツ、得意なこと、チャレンジしたいことは？ そこにつながるスポットは一体どこかな？ 京都にはあなたの「心の灯」を“胸アツ”させるだけのジャンルの広さ、奥深さ、足跡が必ずあります。受け身の旅ではなく、自分にふさわしい見聞をして、「心の灯」をぜひ、成長させ、何か感じてきてください。今の気持ちを大切に、自分だけの「京都LOVE」に出会えるとイイね！

京都観光アドバイザー 塩原直美

もくじ

京都ってどんなところ？	4
京都の歩き方	6
コース1 古代から現代まで日本文学ゆかりの旅	8
コース2 文学者たちが見た景色をたどる聖地巡礼の旅	12
コース3 数字とお金にまつわる旅	16
コース4 月、星、光ゆかりの寺社をめぐる旅	20
コース5 都で育まれた音に耳をすます旅	24
コース6 スポーツにゆかりの名所をめぐる旅	28
コース7 時を超え一流の美にふれる旅	32
コース8 生活をいろどる知恵と技にふれる旅	36

この本の使い方

この本では8通りのモデルコースを紹介しています。興味関心に合わせて、スポットを組み合わせ、オリジナルコースをつくるのもよいでしょう。料金や時間は変更になる場合がありますので、事前に確認していきましょう。

スポット間の移動時間と交通機関を示しています。

コースを「文系」「理系」「芸術芸能」に分類し、示しています。

コースでめぐるスポットを地図で示しています。

それぞれのコースのテーマです。



世界遺産に登録されていることを示しています。

天龍寺

自然の山も麓の一部に
1339年、足利尊氏を祀るために創建されたお寺です。庭園は、足利尊氏にちなんで「天龍寺」と名づけられ、その美しい庭園が、京都府の自然遺産に登録されています。

※ 天龍寺は、京都府の自然遺産に登録されています。

足利尊氏

後醍醐天皇に協力して、足利尊氏を祀るために創建されたお寺です。その美しい庭園が、京都府の自然遺産に登録されています。

※ 足利尊氏は、京都府の自然遺産に登録されています。

ここにも注意！

天龍寺には、足利尊氏の墓があります。その美しい庭園が、京都府の自然遺産に登録されています。

※ 天龍寺は、京都府の自然遺産に登録されています。

各スポットの公式サイト、公式SNSのQRコードを入れてあります。QRコードはスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ることができます。スポットの事情により、省略している場合があります。(システムなどのやむを得ない事情により、予告なく変更または公開を中止・終了する場合があります。)

* QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ゆかりの人物や用語を解説しています。

住所・電話番号、参拝、見学できる時間、料金、各スポットまでの行き方の例を掲載しています。

※ 受付時間やお守りなど授与品の窓口の開所時間については、事前に確認してください。

※ 見学の内容によって、ここに記載されている以外の料金がかかることもあります。

※ 市バス→京都市営バス、地下鉄→京都市営地下鉄(烏丸線と東西線)、叡山→叡山電車、京福→京福電車、京阪→京阪電車、阪急→阪急電車を示しています。

コース2

文学者たちが見た景色をたどる聖地巡礼の旅

昔から多くの文学者が、京都の景色を見て、感じたことを作品に残してきました。旅の前に作品を読んでいくと、文学者たちの息づかいを感じることができるでしょう。



随心院



小野小町の恋のエピソードが伝わる

『古今和歌集』の代表的な歌人、小野小町が晩年をすごしたとされる地の跡に建立されたお寺です。小町がラブレターをうめたと伝わる「文塚」や、化粧をするときに姿を映したとされる井戸があります。本堂には快慶(→P35)がつくった仏像があり、重要文化財に指定されています。

- 住所：京都市山科区小野御堂町35 ●電話：075-571-0025
- 拝観時間：9:00～17:00
- 拝観料：小学生無料、中学生300円、高校生500円
- 地下鉄「小野」から：徒歩5分



古今和歌集

平安時代前期の歌集。小野小町の歌は18首おさめられていて、恋の歌が多い。

永観堂



与謝野晶子の歌碑をさがそう

後ろを振りかえるようにお立ちになる「みかえり阿弥陀」が本尊で、重要文化財に指定されています。歌人の与謝野晶子は若いとき、後に夫となる与謝野鉄幹と友人の3人で永観堂を訪れ、そのときの心情を歌によみました。境内の池のそばには晶子の歌がきざまれた石碑が立っています。



与謝野晶子

明治から昭和時代にかけて、活躍した女性歌人。代表的な作品に、歌集『みだれ髪』や現代語訳『源氏物語』などがある。

- 住所：京都市左京区永観堂町48 ●電話：075-761-0007
- 拝観時間：9:00～17:00 ●拝観料：小中高生400円
- 随心院から：地下鉄「小野」→「蹴上」

ここにも注目!

京都有数のモミジの名所

永観堂はもとは平安時代の貴族で歌人の藤原関雄の別荘だったんだ。そのころからモミジの名所としてもよく知られ、『古今和歌集』にも関雄がこの地のモミジをうたった歌がおさめられている。紅葉シーズンだけでなく、新緑の季節の青モミジも見ごたえがあるよ。

金福寺



俳句と縁が深い

江戸時代中期に俳人の松尾芭蕉が滞在した建物があり、「芭蕉庵」と名づけられました。芭蕉が亡くなったあと、与謝蕪村は芭蕉庵を建て直し、仲間を集めて句会を開きました。寺には与謝蕪村の墓もあり、俳句を愛する人たちが数多く訪れます。



松尾芭蕉

江戸時代の俳人。現在の俳句の基礎を築いた。旅をしながらよんだ句を集めた『奥の細道』などが有名。

与謝蕪村

江戸時代の俳人で俳画（俳句の世界を表した絵）の名人でもある。晩年は京都に暮らした。



- 住所：京都市左京区一乗寺才形町20
- 電話：075-791-1666
- 拝観時間：9:00～17:00
- 拝観料：小学生無料、中学生300円
- 永観堂から：市バス「南禅寺・永観堂道」→「一乗寺下り松町」

下鴨神社（河合神社）

世界遺産



鴨長明が生まれ育った

賀茂川の下流にある下鴨神社は、京都の守護神として、古くから信仰されてきました。境内に河合神社があります。

平安時代末期から鎌倉時代を生き、『方丈記』を書いた鴨長明は、河合神社に仕える神官の家に生まれました。河合神社北側の神宮寺旧跡には鴨長明が晩年をすごし、執筆活動をした「方丈庵」が復元されています。

手鏡の形をした絵馬

河合神社の絵馬は、手鏡の形。この絵馬に自分のなりたい顔をかくと、外見も内面も美しくなれるといわれているよ。祭神の女神である玉依姫命が玉のように美しいといわれているためだ。



方丈記

鴨長明による随筆。当時の災害やききんのこと、方丈庵での生活のこととが綴られている。この世のものはすべて変化し、滅んでいくという仏教の思想「無常観」を表している。日本三大随筆のひとつ。

- 住所：京都市左京区下鴨泉川町59
- 電話：075-781-0010
- 参拝時間：6:30～17:00(河合神社は6:30～16:30)
- 金福寺から：叡山「一乗寺」→「出町柳」

廬山寺



紫式部の住まいがあった

平安時代に京都の別の地で開かれたお寺で、安土桃山時代に現在の場所にうつりました。もともこの場所には平安時代、紫式部（→P9）の住まいがありました。紫式部は子ども時代から人生の大半をここで暮らし、『源氏物語』を執筆したといわれています。



平安時代の庭をイメージした「源氏庭」。紫式部にちなんで、紫のキキョウの花が植えられている。

- 住所：京都市上京区寺町通り広小路上ル北之辺町397
- 電話：075-231-0355
- 拝観時間：9:00～16:00
- 拝観料：小中学生400円、高校生500円
- 下鴨神社から：市バス「下鴨神社前」→「府立医大病院前」

伏見稲荷大社



『枕草子』にも登場

稲荷山に鎮座し、五穀豊穡、商売繁昌の神様として信仰されてきた神社です。稲荷山全体が神域とされていて、本殿だけでなく、山をめぐる「お山めぐり」が丁寧なお参りとされています。平安時代には、清少納言もお山めぐりに訪れ、山歩きが大変だったことを『枕草子』に書きのこしています。

清少納言

平安時代中期に、中宮定子に仕えた女性。京都の四季や宮中での体験を書いた随筆『枕草子』は日本三大随筆のひとつといわれる。



キツネの好物がたくさん

楼門の前にはキツネの像がある。キツネは伏見稲荷大社の神様のお使いなんだ。伏見稲荷大社のまわりには、キツネの好物、油あげを使った「いなりずし」や「きつねうどん」の店が多いよ。

- 住所：京都市伏見区深草数之内町68
- 電話：075-641-7331
- 参拝時間：境内は自由参拝
- 廬山寺から：京阪「出町柳」→「伏見稲荷」